

取扱説明書

デスク・テーブル類

この度は、無印良品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この商品を末永く、安全にご使用頂くために、この「取扱説明書」をよく読み正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

目次	1. デスク・テーブルの置き方 2. 使用上の注意 3. 保守・点検 4. 手入れ方法
----	--

お問い合わせ先

株式会社 良品計画

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

☎ 0120-14-6404

■平日 10:00~21:00

■土・日・祝 10:00~18:00

株式会社 良品計画

① EXPLANATORY NOTE / DESK & TABLE

1 デスク・テーブルの置き方

- ①直射日光や熱・冷暖房器具の強風などが直接あたらないようにしてください。テーブルの変形、変色、又火災の原因となる事があります。
- ②高温多湿の部屋での使用は、避けてください。空気が滞留するとカビやダニの発生の原因になります。引き出し等内部の換気を時々行ってください。
- ③テーブルは床面の平らな場所に水平になる様に置いてください。テーブルの変形やゆがみの原因となる事があります。
- ④床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。床面のキズ防止になります。
- ⑤床面がクッションフロアの場合は、敷物などを敷いて使用してください。木部の塗料と床面との反応による汚れ防止になります。

2 使用上の注意

- ①テーブルの上に立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、腰掛けたりしないでください。安定をくずし、倒れてケガをする事があります。また、キャスター付きの場合には、お子様が押ししたり、遊んだりしないようにご注意ください。ケガや破損の恐れがあります。
- ②引出しの上に乗ったり、ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。また、引出しを同時にいくつも開けたり、引き出ししたりしないでください。重心が前に移り転倒し、ケガをする事があります。引出しが付いている場合、これをいっばいに引き出すと、抜け落ちてケガをする場合があります。
- ③木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので、換気を充分にしてホルムアルデヒドを取り除く様にしてください。
- ④ソファを移動する時は、クッションなど取り外しのできるものははずして運んでください。移動する時には、必ず座部の下に両手を掛け、大人2人以上で、床面を引きずらないよう持ち上げて運んでください。ケガや破損、床面の傷の防止になります。
- ⑤可動部分のあるテーブルは、指や手を挟まないようにご注意ください。ケガをする恐れがあります。
- ⑥つき板やムク板使用の天板等に直接熱いものやぬれたものを置いたり、ビニール等で長時間おたって使用しないでください。ムク板がそったりつき板や塗料が変色したり、はがれる事があります。
- ⑦テーブルの上に灰皿や食器等、底のザラついた物を直接置いて引きずったりすると傷がつくことがありますのでご注意ください。
- ⑧ガラスを使用しているものは、乱暴な扱いはしないでください。ガラスが割れてケガをすることがあります。

- ⑤引火性の強い薬品や、ベンジン、接着剤などは引出しや棚などに入れないでください。火災や悪臭の原因になります。

3 保守・点検

- ①脚（キャスター）、ネジ、丁番、金具類は、ゆるみやグラツキがないか時々点検し、ゆるみははじめたら、しっかり締めなおしてください。また、キャスターの汚れは定期的な掃除してください。ケガや破損、床面の傷の防止になります。
- ②害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

4 手入れ方法

- ①木部
 - ・塗装面のホコリは柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でほこりのあるままですると、こまかな傷が付いてかえって逆効果です。ふつう、柔らかい布の空拭きだけで充分です。
 - ・汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。
 - ・化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。
- ②石・ガラス・金属部
 - ・毎日のお手入れは、柔らかい布で空拭きしてください。
 - ・汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤液を含ませた布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。
 - ・金属部には、その後、防錆、潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で乾く拭き取ってください。